

本コースの狙い

アジアイノベーション研修コース(ASIM)は、アジア諸国の企業の経営幹部、中・上級管理者を対象に、日本企業で実践されている技術を中心とした経営(技術経営)や企業経営におけるイノベーションについて学ぶプログラム、アジアのHIDA/AOTS同窓会の協力により開設します。本コースでは、マーケティング、技術戦略、組織マネジメント、新規事業開発、知財管理など企業変革(イノベーション)をもたらす諸要素について学ぶことにより、参加者が帰国後に自社の経営を改革する能力を身に付けることを目的としています。

対象者

製造業の経営戦略、新規事業開発、新製品開発、生産技術、マーケティングなどに携わる経営幹部、中・上級管理者

実施言語

全ての講義、企業見学、演習は英語、または英語の通訳付きで実施します。

日本への
派遣経費に対し
日本政府からの
補助金が一部適用
されます。

研修のステップ

【第一段階】

日本企業の競争優位性や課題、企業で実践されてきたイノベーションの特徴などについて理解します。

【第二段階】

企業に変革(イノベーション)をもたらす諸要素ー現代の市場の消費者行動に基づくマーケティング、文化的多様性が市場の獲得に与える影響(国際経営)、技術戦略、組織マネジメント、新規事業開発、知財戦略などについて学びます。

【第三段階】

実際に、日本企業が実践している技術経営・イノベーションの事例を、企業見学を通じて理解を深めます。

【第四段階】

最後に、研修で学んだことを参加者が自社の企業経営にどのように活用するか、帰国後のアクションプランをま

コース ディレクター

延岡 健太郎 氏
一橋大学イノベーション研究センター センター長 教授

マツダ株式会社勤務を経て、マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院にて経営学を研究。帰国後、神戸大学経済経営研究所で教鞭を取り、1999年から同研究所の教授に就任。2008年からは、現在の一橋大学イノベーション研究センターに移り、2012年よりセンター長を務める。
専門は、戦略・組織マネジメント、技術経営。著書・論文多数。

日程表（案）

月 日	午前			午後	
3月8日（日）	来日				
9日（月）		オリエンテーション/開講式	講義：	日本企業におけるイノベーション ーその特徴と課題ー	
10日（火）	講義：	技術経営（技術戦略／新規事業開発）			
11日（水）	講義：	消費者行動に基づくマーケティング戦略			
12日（木）	講義：	国際経営ー文化的多様性に対応する企業経営			
13日（金）	講義：	日本の特許制度	見学：	知財管理	
14日（土）	休日				
15日（日）	休日				
16日（月）	講義：	日本のイノベーションシステム	講義：	技術戦略と国際経営	
17日（火）	企業等見学 （遠隔地）		見学： マーケティング／国際経営		
18日（水）			見学： 技術戦略		
19日（木）			見学： 新製品開発／新規事業開発		
20日（金）	発表：	最終レポート発表	発表：	最終レポート発表／修了式	
21日（土）	帰国				

上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
募集要項 http://www.hidajapan.or.jp/jp/ikusei/management/files/14asim_j.pdf をご覧ください。

お申込締切：2014年12月25日